

平成 25 年度 公益財団法人人材育成ゆふいん財団・公益目的事業等 実施概要書

<基本理念及び平成25年度目標>

基本理念 0歳から100歳まで…子どもたちの未来を育む、やすらぎのまちづくり

- 人材育成ゆふいん財団は、未来へ向けていつまでも平和で豊かな社会であり続けるために、お互いの暮らしや地域の関わりあいを深めていくことが大切であると考え、そのような社会の実現に向けて「人」を育む環境を整えていくという役割を担うものです。
- 設立以降、この基本理念のもと事業を推進してきました。平成24年度事業においても、設立当時の想いも大切にしながら、継続して取り組んでいきます。

平成25年度目標

幅広く財団の活動をアピールし、その良さをより多くの人に知ってもらう。

- 人材育成ゆふいん財団は、主として湯布院地域で人材育成に関する調査研究を行っている公益法人です。ゆふいん（湯布院地域や湯布院に関わる人づくり、まちづくり）で培った調査研究の経験と実績を活用し、大きくは次の2つの公益目的事業を実施していきます。

1) 公益目的事業1：市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

- 国内外やゆふいんにおいて市民が自ら学び、自ら実践していくための多様な自主的学習や人材育成の機会を提供することで、0歳から100歳までの学びを奨励、援助していく事業

公益目的事業1	実施状況	事業における収支 (円)
①国際交流事業 ゆふいんの子ども達を、韓国や中国など、文化や言葉の違う国に使節団として派遣し、現地で国際交流を行っていきます。	<p>(1)「第12回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団」・相互交流：往路韓国水原市訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内在住の中学1年生～中学3年生までを対象に公募。今年から高校生枠（3名まで）の公募を追加した。結果的に面接選考により、12名が選ばれた。 ・ 中学1年生が1名、2年生が8名、3年生が3名、そして引率者2名の計14名の使節団で韓国・水原市（スウォン）を3泊4日で訪問。水原市青少年育成財団との交流を実施した。 <p style="text-align: center;"><実施日程></p> <p>6月18日 第1回理事会において、ふれあい交流使節団派遣先が韓国・水原市で決定</p> <p>7月 7日 応募者面接選考会・団員決定</p> <p>7月10日 保護者説明会</p> <p>7月13日 第1回韓国語勉強会</p> <p>7月20日 第2回韓国語勉強会</p> <p>7月27日 第3回韓国語勉強会</p> <p>7月30日 第4回韓国語勉強会</p> <p>8月 1日 韓国・水原市へ出発、出発式</p>	<p>2,388,528</p> <p>内事業費：1,823,801 内人件費：564,727 (収入：278,000)</p>

8月 4日 湯布院へ帰国、解団式

8月28日、

29日 壁新聞作成

8月30日 第2回理事会において事業報告

(2) 水原市青少年育成財団の由布市訪問

・ 相互交流：復路由布市訪問

昨年度の由布市訪問に引き続き、お互いの往来の復路として交流プログラムを実施した。交流を通して由布市や湯布院地域を知り、お互いの継続的な国際相互交流、親善につなげていくことを目的に、水原市青少年育成財団が由布市を訪問した。

<水原市青少年育成財団・交流団の紹介>

12月上旬 公募

下旬 13名を選抜

○リーダー（引率者）：キム・チュンヨン（男：水原市青少年育成財団・理事長）キム・ヒスク（男：水原市青少年育成財団）キム・ジョンス（男：水原市青少年育成財団・勸善青少年修練館 館長）キム・ヘランさん（女：水原市青少年育成財団・勸善青少年修練館職員）ヤン・ソンヒさん（女：水原市青少年育成財団・広交青少年修練館職員）

○子ども：水原青少年育成財団に所属している勸善青少年修練館(グオンソン ユースセンター)で活動する子どもたち男性1名、女性12名の計13名。

<水原市青少年育成財団・交流団訪問旅程>

●1月23日（木）

「水原から湯布院へ ～再会・歓迎の日～」

歓迎会の開催（山水館・麦酒館）

ホームステイのホストファミリー、由布市の関係者、ゆふいん財団関係者などが集合して歓迎。計40名が出席。

●1月24日（金）

「由布市のまちづくりと自然環境について学び・交流する1日」

湯布院講演会 ～財団理事長 溝口薫平～

「ゆふいんのまちづくりと自然環境について」

学校見学・湯布院中学校で「給食を一緒に食べよう」由布院散策。

ホームステイ（ホストファミリー6家族）

●1月25日（土）

	<p>「大分県を由布市の子どもたちと一緒に訪れ、遊び、学ぶ1日」</p> <p>APUアジア太平洋大学を訪問・キャンパスを交流見学。城島遊園地でグループ交流。ホームステイ。</p> <p>●1月26日(日)</p> <p>「由布市から水原へ～お別れの日また会う日まで～」</p> <p>湯布院公民館で一緒に郷土料理づくり。</p>	
<p>②ふれあい学習事業</p> <p>様々なテーマ・分野で活動する団体やグループ、個人と連携をしながら、0歳から100歳までの学習、人材育成の機会を提供していきます。</p>	<p>(1)「大分川河川環境学習会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 大分川を舞台にして、川に触れ、川遊びをしながら、川に親しむことを目的に、大分川河川環境学習会を行いました。 <p style="text-align: center;">＜実施日程＞</p> <p>8月27日 第1回大分川・河川環境学習会検討会</p> <p>9月2日 第2回大分川・河川環境学習会検討会</p> <p>9月10日 第3回大分川・河川環境学習会検討会</p> <p>9月23日 大分川・河川環境学習会 第1弾</p> <ul style="list-style-type: none"> ○由布川峡谷の成り立ち ○水の力を知る <p>※参加人数(子ども11名、スタッフ10名、計21名)</p> <p>9月30日 第4回大分川・河川環境学習会検討会</p> <p>10月5日 大分川・河川環境学習会 第2弾</p> <ul style="list-style-type: none"> ○男池での湧水、自然環境観察 ○炭酸水等の水の飲みくらべ <p>※参加人数(子ども13名、スタッフ6名、計19名)</p> <p>10月22日 第5回大分川・河川環境学習会検討会</p> <p>11月4日 大分川・河川環境学習会 第3弾</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金鱗湖周辺での自然観察・外来種ゲーム ○釣り大会 <p>※参加人数(子ども12名、スタッフ9名、計21名)</p> <p>11月22日 第6回大分川流域会議(反省会)</p>	<p>433,013</p> <p>内事業費：161,795</p> <p>内人件費：271,218</p> <p>(収入：30,000)</p>
<p>③人材育成活性化のための調査・研究事業</p> <p>「人材育成」「環境問題」「教育問題」等の各種講演や啓発・普及活動、人材育成活性化の調査・研究を行っていきます。</p>	<p>里山資源を活かしたクラフト職人を1人継続雇用、生産活動を引き続き実施した。木工技術習得、商品研究・開発業務を行った。</p> <p>永続的に自立運営できる経営基盤を築いていくことを目標に、くぬぎの学校の運営プランを検討。大分県公募事業・緊急雇用起業支援型地域雇用創造事業に応募し、採択を受けた。3月3日より、緊急雇用大分県産材木製給食器普及事業に着手、求人、面接選考により新規雇用者を2人採用し、各種研修をスタートさせた。</p>	<p>4,194,059</p> <p>内事業費：1,262,809</p> <p>内人件費：2,931,250</p> <p>(収入：682,112)</p>

2) 公益目的事業2：市民の実践活動の促進を援助する事業

- 市民が実践する公益的活動に資する人的支援や情報・ネットワーク支援を図り、さらにそれらの支援を受けながら名誉ある功績を残した活動に対して助成・顕彰を行い、市民実践活動のさらなる促進や継続的な側面的援助を行う事業

公益目的事業2	実施状況	事業における収支 (円)
<p>①市民実践活動への人的支援事業</p> <p>市民が実践する公益的活動の企画・運営についての相談やアドバイスをを行い、適材適所となるボランティアの紹介をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と学校のパイプ役として、由布院小学校の総合的な学習授業・キャリア教育授業での講師派遣・授業運営サポートを行った。 1月20日(月) 利光恵子さんの授業(保育士) 1月28日(火) 高倉美樹さんの授業(パティシエ) 	<p>31,584</p> <p>内事業費：14,165 内人件費：17,419 (収入：0)</p>
<p>②市民実践活動への情報・ネットワーク支援事業</p> <p>情報誌「人材育成ゆふいん財団ニュース」の発行やホームページを活用し、公益的活動の情報発信とコミュニティーのネットワークを構築していきます。</p>	<p>「人材育成ゆふいん財団ニュース」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年5回発行(Vol.75~79) ・ 発行部数4,000部(1回につき) ・ 町内全戸配布(自治分配) <p>「ホームページによる情報発信」</p>	<p>548,687</p> <p>内事業費：324,531 内人件費：224,156 (収入：0)</p>
<p>③市民実践活動への助成・顕彰事業</p> <p>自主的な公益的活動を企画、または事業を運営する個人・グループ・団体に対して、助成・顕彰を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民実践活動への助成事業において、今年度の申請はなかった。来年度広報についての検討を行った。 ・ 市民実践活動への顕彰事業として平成22年度に採択された「ゆふいん音楽祭」については、記録誌作成のための作業が完了できず、平成26年度6月までの継続実施事業となっている。 	<p>124,978</p> <p>内事業費：71,806 内人件費：53,172 (収入：0)</p>